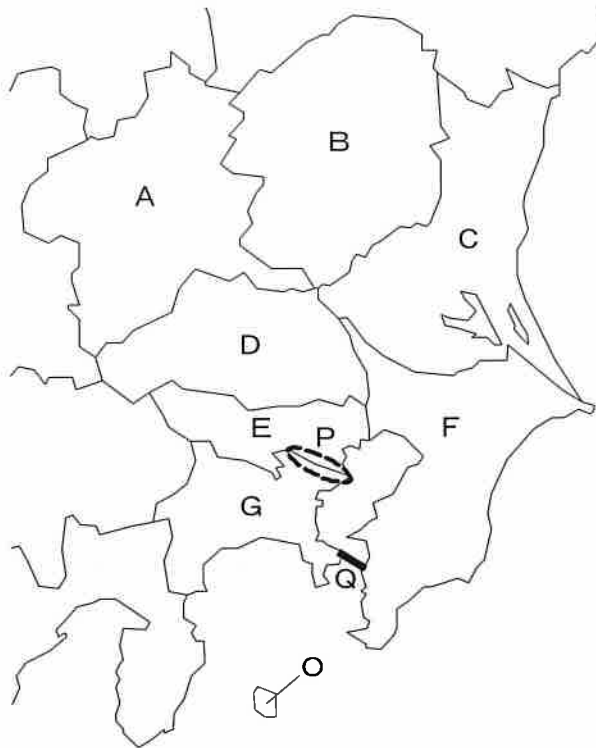
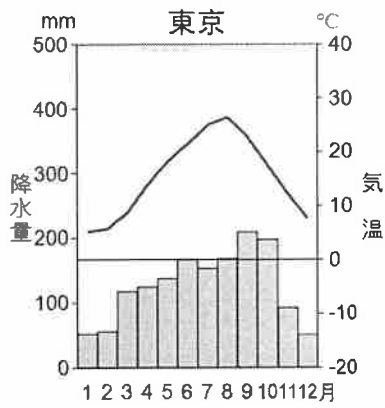


- 1 次の地図をみて、下の各問いに答えなさい。なお、地図中のA～Gはそれぞれ都県を示しています。

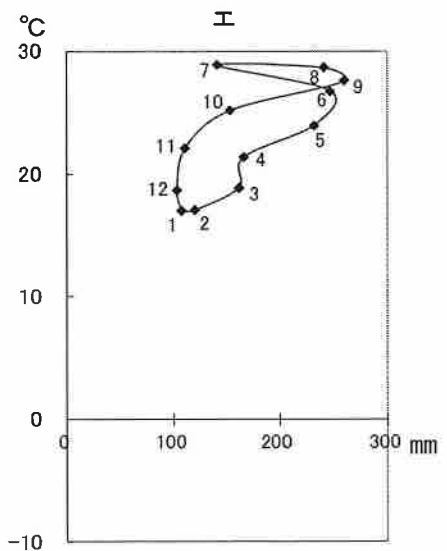
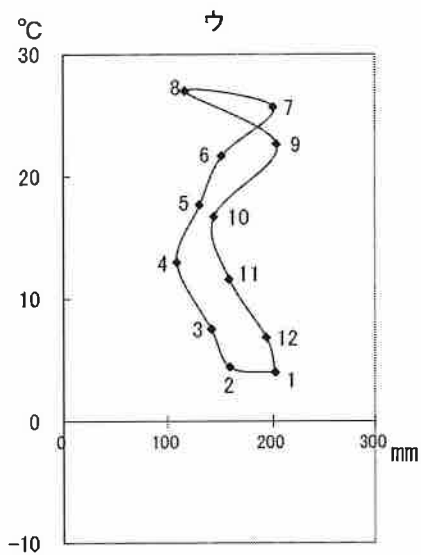
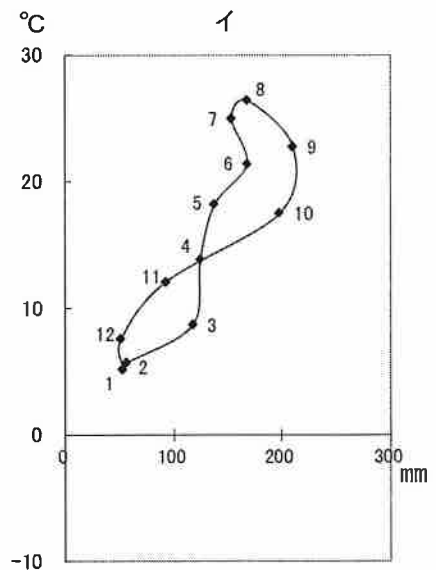
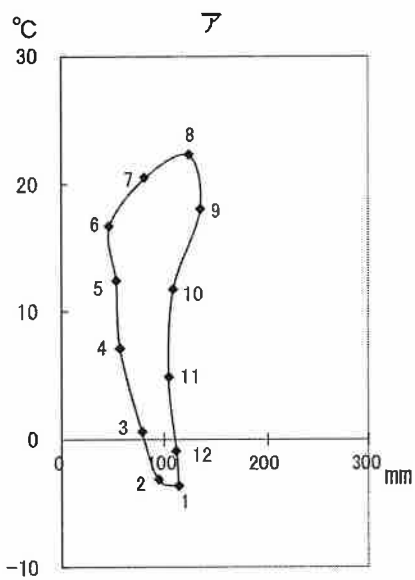


- 問1 地図中Bの県庁所在地名を漢字で答えなさい。
- 問2 地図中E・Gの県境のうち、Pで示した部分は河川によるものです。この県境となっている河川名を漢字で答えなさい。
- 問3 地図中Qの線は、F・Gの県を結んだものです。下のア～エのうち、この線について正しくのべたものはどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。
- ア Qの線は、東京湾アクアラインを示している。
- イ 東京湾アクアラインは、Qの線より南側を通っている。
- ウ 東京湾アクアラインは、Qの線より北側を通っている。
- エ 東京湾アクアラインは、Qの線と交差するように通っている。
- 問4 下のア～オのうち、地図中の都県と都道府県別産出量(2017年)が全国1位である農産物との組み合わせとして、ふさわしくないものはどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。
- ア Aーこんにゃくいも      イ Bーいちご      ウ Cーはくさい
- エ Eーほうれんそう      オ Fー日本なし
- 問5 縦の軸と横の軸にそれぞれ気温と降水量の目盛りをとり、ある月の平均気温と降水量を一つの点であらわして、それを12カ月分結んだものをハイサーグラフといいます。次のア～エのうち、東京のハイサーグラフとしてふさわしいものはどれですか。次の雨温図を参考にして、一つ選び、記号で答えなさい。



\* 値は1981～2010年の平均値

※『データブック オブ・ザ・ワールド 2019年版』より作成



問6 下の表は、東京をふくむ4地点における霜の初日と終日の平年値(1980年秋から2010年春までの平均値)を示したものです。この表を参考に、下のア～エのうち、東京の降霜期間について正しくのべたものはどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。

	初霜	終霜
山形	10月30日	4月28日
東京	12月20日	2月20日
福岡	12月12日	3月10日
鹿児島	12月10日	3月1日

※『データブック オブ・ザ・ワールド 2019年版』より作成

ア 東京は4地点の中でもっとも南に位置しているため、降霜期間がもっとも短い。

イ 東京は4地点の中でもっとも冬の寒さが厳しいため、降霜期間がもっとも長い。

ウ 東京は南東方向からの季節風の影響を強く受けるため、4地点の中でもっとも降霜期間が短い。

エ 東京は4地点の中でもっとも降霜期間が短く、ヒートアイランド現象がその原因の一つと考えられる。

問7 地図中○の島に関連して、①・②の各問いに答えなさい。

① 下のア～エのうち、この島が属する都県について正しくのべたものはどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。

ア この島はEに属する。                      イ この島はFに属する。

ウ この島はGに属する。                      エ この島はE～Gのいずれにも属さない。

② この島についてのべた下の文中の(1)～(4)には、下の選択肢のいずれかの数字が1回ずつ入ります。適する数字をそれぞれ選び、その数字を答えなさい。

この島の面積は約( 1 ) $\text{km}^2$ で、島内には約8000人(2018年)が居住している。年降水量(1981～2010年の平均)は( 2 ) $\text{mm}$ ほどで、国内でも比較的降水量の多い地域であるといえる。島の中央には( 3 )年に大規模な噴火をおこした、標高( 4 ) $\text{m}$ の三原山があり、島の97%は富士箱根伊豆国立公園に指定されている。島には全長46.6 $\text{km}$ ほどの周回道路が通っており、車であれば1時間ほどで島を一周することができる。

選択肢 [ 91      758      1986      2827 ]

問8 下の表は、1965年から2010年にかけての都道府県別の面積の推移を示したものです。表中のい～へは関東地方のいずれかの都県をあらわしています。I群のい～はは面積の増減が小さいが、II群のに～へはいずれも40km<sup>2</sup>以上面積が増加していることがわかります。面積の増減が小さいI群に共通する特徴と、II群が面積を増加させた共通の理由をそれぞれ説明しなさい。

単位：km<sup>2</sup>

		1965年	1980年	1995年	2010年
I群	い	6419	6414	6408	6408
	ろ	6350	6356	6363	6362
	は	3800	3799	3797	3798
II群	に	5050	5143	5156	5157
	ほ	2135	2156	2187	2188
	へ	2375	2397	2414	2416

※『数字でみる日本の100年 第6版』より作成

問9 下の表は、群馬県・東京都・埼玉県における人口の増減数を年代ごとに示したものです。下のア～エのうち、この表に関する説明としてふさわしくないものはどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。

単位：千人

	1950～55年	1965～70年	1975～80年	2005～10年
群馬県	12.2	53.3	92.1	-16.1
東京都	1759.6	538.8	-55.3	582.8
埼玉県	116.2	851.5	599.1	140.3

※『数字でみる日本の100年 第6版』より作成

- ア 第二次世界大戦後から高度経済成長期にかけて、東京都への人口集中が進み、過密による問題が生じた。
- イ 1960年代ごろから大都市郊外でのニュータウン開発が進み、埼玉県では、いちじるしい人口増加がみられた。
- ウ 1970年代に入ると、バブル景気後の不況(いわゆるバブル崩壊)の影響で、他県への転出が進み、東京都では人口減少がみられた。
- エ 2000年代に入ると、都市への人口移動だけでなく少子高齢化の影響もあり、群馬県では人口減少がみられた。

問10 下のア～エのうち、東京都と群馬県を比較したときに群馬県の方が値が大きい(高い)ものはどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1000世帯あたりのパソコン所有台数(2014年)
- イ 1000世帯あたりの自動車所有台数(2014年)
- ウ 1000世帯あたりのスマートフォン所有台数(2014年)
- エ 下水道普及率(2017年)

問11 下の表は、10歳以上の男性が1日の生活の中で通勤・通学に要する時間の平均(2016年)を都県ごとに示したものです。下のア～エのうち、この表から考えられることとしてもっともふさわしいものはどれですか。記号で答えなさい。

群馬県	36分
東京都	53分
埼玉県	54分
神奈川県	60分

ア 所要時間がもっとも短い群馬県は、居住地の近くに通勤・通学先がある人が多いと考えられる。

イ 所要時間がもっとも長い神奈川県は、他の都県よりも交通機関の乗り換えや乗り継ぎに時間を要すると考えられる。

ウ 群馬県で所要時間が短いのは、多くの人が通勤・通学に新幹線を利用しているためであると考えられる。

エ 埼玉県が群馬県よりも所要時間が長いのは、多くの都県と接しているためであると考えられる。

※『データでみる県勢2019』より作成

問12 新宿(かつての内藤新宿)・品川・春日部(粕壁)はいずれも、江戸時代の五街道に発達した宿場町です。このうち、春日部(粕壁)を経て白河へと続く街道は何ですか。街道名を漢字で答えなさい。

問13 解答用紙の白地図中に、①銚子市・②霞ヶ浦・③浅間山を、それぞれ記入しなさい。その際、名称や記号などは、下の例にならって同じように記入すること。なお、③浅間山は、X～Zから正しい位置を選んだうえで記入しなさい。



例 ①千葉市・②北浦・③三国山の場合